

第2学年1組 生活科指導案

平成26年10月29日(水) 2校時

場所: 2年1組教室 指導者: 教諭 田中真梨子

1 単元名 「めざせ 野さい名人」(教育出版 下)

2 単元について

(1) 本単元は、学習指導要領の第1学年及び第2学年の内容(7)(8)に基づいている。

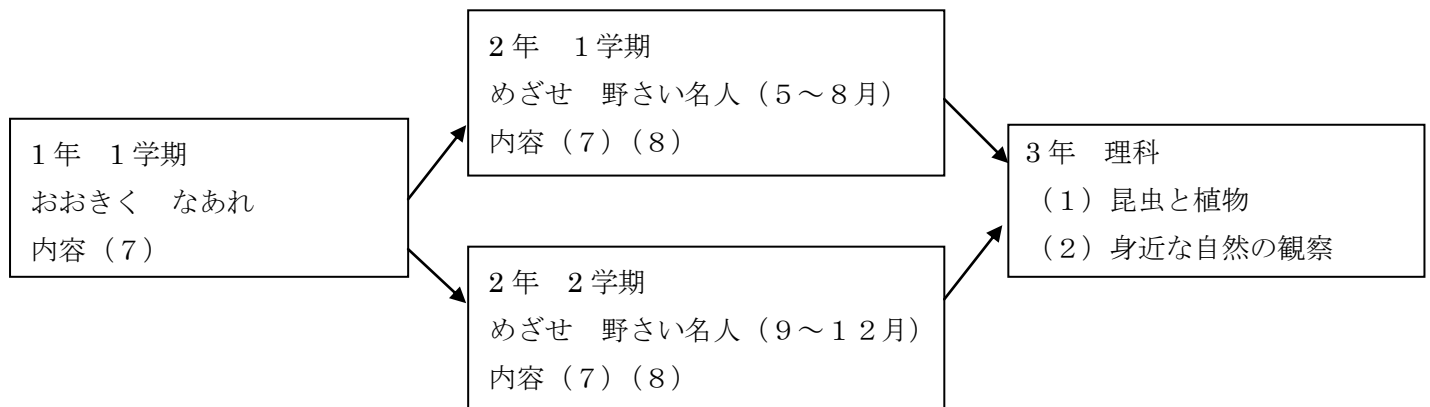
(7) 動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。

(8) 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの大切さが分かり、進んで交流することができるようにする。

1学期には、ピーマンやナス、ミニトマトといった夏野菜を育て、それらの成長や変化の様子を観察したり、収穫したりした。また、鹿本農高の高校生達と一緒にうねを作ったり、お世話の仕方について質問したりするなどの交流も行った。

これらの経験を踏まえ、2学期には、自分たちで育てたい野菜を決め、協力しながら進んで世話を続けることを通して、それらの変化や成長に興味を持ち、命を持っていることに気付かせたい。また、野菜の世話をする過程で生じる問題を解決したり乗り越えたりするとともに、収穫したもので作ったり食べたり、バザー等で販売したりすることを通して、収穫の喜びを味わえるようにしたい。

(2) 本単元にかかわる学習の系統は次の通りである。



(3) 児童の実態

本学級は、男子11名、女子1名の計12名である。生活科の授業について、11名が「好き」または「まあまあ好き」と答えている。生活科の授業で頑張ったこととして、3名が「野菜のお世話や観察」と答えている。また、野菜のお世話について、「水やりや草取りを頑張っている」と答えている児童がいたが、野菜の水やりや草取りは、自分から進んでする児童は少なく、教師が声をかけたり、授業で時間を取ってすることもあった。しかし、お世話をする中で、気付いたことを教師や友だちに教える児童は多い。

本単元では、これまでのお世話の仕方を振り返り、発表し、今後のお世話に活かすことで、自分の力で工夫して栽培しようとする心を育み、植物へ親しみをもって世話をする楽しさや喜びを味わうようにしていきたい。

3 仮説にせまる授業での取り組み

(1) 問題設定の工夫(柱①)

○ 植える野菜は、1年生や2年生の1学期で苗を植えて野菜を育てた経験を生かしながら栽培できるもの、成長の様子がとらえやすいもの、確かな実りを実感でき、満足感や達成感が得られるものを選定する。

○ 「鹿本農高生と一緒に調理して食べる」といった最終目標を明確にする。

○ 「どうしたら、大きく元気な野菜になるか。」を考え、お世話の仕方の工夫について考える。

(2) 自分の考えをもち、表現できる手立ての工夫(柱②)

○ 何について調べるか確認したうえで、図書資料を使って十分に調べる場や時間をもたせる。

○ 自分で調べたことや気付いたことをワークシートにまとめ、発表の場を設定すると共に、友だちの意見にアドバイスをしたり、質問したりする機会を設ける。

○ 「学校へ行こう会」などの機会に、育てた野菜について調べたことや分かったことを発表する場や時間を設定する。

(3) 身近な生活や自然で理科を実感させる工夫 (柱③)

○ 野菜の特徴・育つ場所・成長の様子などの視点をもたせ、自然や他の植物と比較する。

3 単元の目標

野菜の苗を植えたり種を撒いたりして、世話を続ける中で成長の様子に関心を持ち、収穫を楽しむことができる。

野菜を育てる活動を通して、野菜も自分たちと同じように生命をもっていることを感じ取るとともに、それらを大切にすることができる。

4 単元の評価規準

(国立教育政策研究所作成の「評価規準の設定例」から)

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
①身近な植物に関心をもって関わろうとしている。 ②野菜の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって、世話をしようとしている。 ③育てている野菜に心を寄せ、繰り返し関わろうとしている、 ④野菜に親しみをもち、野菜を大切にしようとしている。	①育ててみたい野菜を選んだり決めたりしている。 ②野菜の育つ場所、変化や成長について考え、世話の仕方を工夫している。 ③野菜の立場に立って考え、世話の仕方を工夫している。 ④育ててきた野菜との関わりを振り返り、自分なりの方法で表している。	①野菜の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に気付いている。 ②育てている野菜に合った世話の仕方があることに気付いている。 ③野菜は生命をもっていることや成長していることに気付いている。 ④野菜への親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。

5 指導計画及び評価基準 (15 時間扱い)

次	時	主な学習活動[◇教師の支援・留意点 〈 〉は小単元]	評価基準 (評価方法)			
第一次	1	〈めざせ、やさい名人〉 ○育てたい野菜などについて話し合う。 〈たねをうえよう〉	◇学習のゴールを明確にする。 ◇鹿本農高生と共に畑作りから種植えをし、分からないことや難しいことは尋ねるよう声をかける。	関・意・態① 思・表① (行動観察・発言)		
	2	○どんな畑にするか考える。				
	3	○種を畑に植える。				
	4	○自分で植えた野菜を観察し、成長の様子や気付きを記録する。			気付き① (発言・学習シート)	
第二次	5・6	〈やさいのおせわのしかたについて考えよう〉 ○野菜の観察をしたり、野菜のお世話(間引きや草取りなど)したりする。	◇種からどのように成長しているか一人一人に尋ね、気付きをみんなに広げようにする。 ◇前もって図書資料やインターネットの情報を収集しておく。また、液肥などの肥料も準備しておく。	関・意・態② (行動観察・発言)		
	7・8	○自分の野菜の成長に合わせた世話や、病気への対処の方法などについて本やインターネットで調べ、実践する。			思・表② 関・意・態③ (行動観察・発言・学習シート)	
	9	○これまでのお世話の仕方について振り返り、これからのお世話の仕方について考えたり、野菜の先生にアドバイスをもらったりする。			◇これまでの野菜のお世話の仕方を振り返り、今後のお世話の仕方について広がりや深まりを持たせるようにする。	思・表③ 気付き② (行動観察・発言・学習シート)

第三次	10	<p>〈野菜を収穫しよう〉</p> <p>○野菜の観察やお世話(草取り、虫よけ、追肥)をする。</p>	<p>◇前時に考えたお世話が、本時に活かせるようにする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 気付き③ (発言・学習シート) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 関・意・態④ (行動観察・発言) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 気付き④ (発言・学習シート) </div>
	11	<p>○収穫した野菜をどのように料理するか決める。</p>	<p>◇してもらいではなく、自分たちが主となって調理できるような手立てを行う。</p>	
	12	<p>○野菜を収穫する。</p>		
	13	<p>○鹿本農業高校の生徒たち</p>	<p>◇鹿本農高生に手伝ってもら</p>	
	14	<p>と一緒に収穫した野菜を料理し、食べる。</p>	<p>いながら、楽しく調理できるようにする。</p>	
15	<p>○野菜作りを通して、お世話の仕方や分かったこと、気付いたことをまとめ、発表する。</p>	<p>◇自分や友だちの頑張りや成長、野菜の成長の様子に気付くようにし、学習の振り返りをする。</p>		

本時の学習（本時 9/15時間）

- (1) 目標 育てている野菜について、お世話の仕方について困っていることやアドバイスを出し合い、野菜の適した世話の仕方について話し合い、野菜を大切に育てようとする意欲を持つ。
- (2) 展開

過程	時間	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点・評価	備考
つかむ	5	<p>1 本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大根が大きく、太くなってきた。 ・人参も間引きしたら、色がついていた。 ・ほうれん草が育たない。 ・元気に育てほしい。 ・大きく育てほしい。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○今、育てている野菜の成長過程を写真で見せ、これまでどのようなお世話をしてきたのか、想起させる。</p> <p>○収穫時期の野菜の写真を見せることで、「鹿本農高の人たちと一緒に料理して食べるために、元気に育てる」という意識を高めるようにする。</p>	<p>今育てている野菜の写真</p> <p>収穫時期の野菜の写真</p>
もとめる	20	<p>めあて：これまでのお世話の仕方を振り返り、野菜さんが元気に育つようなお世話の仕方を考えよう。</p> <p>3 自分たちの育てている野菜のお世話の仕方について、お世話カードにまとめる。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の成長に合わせて何回か間引きしたな。 ・近くの雑草は全部抜いたな。 ・頑張って水やりしたよ。 <p>4 自分たちのお世話カードをみんなに見せて、どんなお世話をしてきたのか発表しましょう。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大根は何度か間引きをしました。最近のは、こんなに大きかったです。 ・前の2年生は人参が育たなかったって聞いたけれど、僕たちのはこんなに育ちました。 ・ほうれん草が育たなかったのは、間違っただけだからかもしれません。 ・(ほうれん草の)種を植え直したら、少し芽が出てきました。 ・大根の食べるところが出てきたので、土寄せしました。 	<p>○グループで育てている野菜のお世話の仕方について、絵や言葉でまとめるよう指導する。</p> <p>○教師が育てている野菜を例として、どのようにかけばいいか黒板に提示する。</p> <p>○早く終わったグループは、相手に伝わるように発表の練習をするよう指導する。</p> <p>○話し合いがうまくいかないグループには、育てている野菜の写真や図書資料を見せたり、今までどんなお世話をしてきたのか訊ねたりして、お世話のヒントを与えるようにする。</p> <p>○黒板にそれぞれの班のお世話カードを掲示し、野菜ごとにお世話の仕方が比較できるようにする。</p> <p>○大切な言葉は教師が板書し、まとめる。</p>	<p>お世話カード (絵や言葉で表現する)</p> <p>野菜に関する本</p> <p>お世話カード</p>
िकास	15	<p>5 発表をしたり、友だちの発表を聞いたりして、困っていることやアドバイスを発表する。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほうれん草が育たない。 ・元気がないなら、肥料をあげてみたらいいんじゃないかな。 ・雑草は全部抜いた方がいいよ。 	<p>○困ったことやアドバイスを板書する。</p> <p>思・表② (ワークシート・発表)</p> <p>【B基準】 これまでの野菜のお世話の仕方についてまとめることができる。</p> <p>【A基準】 友だちが考えた世話の仕方にアドバイスすることができる。</p>	

		5 鹿本農高の竹村先生に、野菜の世話の仕方について、アドバイスをしてもらおう。(10分)	○鹿本農高の竹村先生に野菜の世話の仕方について、アドバイスを頂く。	
まとめ	5	6 本時の学習を振り返る。(5分) <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの意見を聞いて、頑張って野菜を育てようと思いました。 ・早く野菜を収穫したいです。 	○今日の授業で分かったことや感想などを発表させる。	

○「徹底指導」「能動型学習」について

本時においては、グループで3つの野菜を育てることにし、継続的にその野菜をお世話することで能動的に学習がすすめられるようにする。野菜の種類によっては、成長の進捗状態が異なるが、収穫時期の写真を見せ、野菜によって成長のスピードが異なることを説明する。

○本時で身に付けさせたい科学的用語…肥料